



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月5日

上場会社名 株式会社UACJ 上場取引所 東
 コード番号 5741 URL http://www.uacj.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石原 美幸
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 上田 悟郎 TEL (03)6202-2600(代)
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	314,608	△4.9	3,428	△71.1	405	△94.6	△3,389	—
2019年3月期第2四半期	330,857	9.6	11,867	△24.9	7,570	△40.9	2,356	△65.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △5,312百万円 (—%) 2019年3月期第2四半期 3,776百万円 (△53.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△70.26	—
2019年3月期第2四半期	48.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	755,622	197,312	24.2
2019年3月期	807,224	206,204	23.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 183,032百万円 2019年3月期 190,998百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2020年3月期の期末配当予想額につきましては、未定としております。

詳細につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	670,000	1.3	10,000	△32.7	4,000	△35.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

親会社株主に帰属する当期純利益は、未定としております。

詳細につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期2Q	48,328,193株	2019年3月期	48,328,193株
2020年3月期2Q	93,662株	2019年3月期	91,347株
2020年3月期2Q	48,235,439株	2019年3月期2Q	48,240,768株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、前年度後半からの米中貿易摩擦の影響に伴う中国経済の減速、IT・半導体市況の悪化等が引き続き継続しており、軟調に推移しました。

我が国経済については、企業部門、家計部門でも緩やかな成長が続いているものの、世界経済の減速の影響を受け、不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループの連結業績については、販売数量は増加したものの、地金価格の下落等により、売上高は314,608百万円（前年同期比4.9%減）となりました。損益については、棚卸評価関係が悪化したこと等により、営業利益3,428百万円（同71.1%減）、経常利益405百万円（同94.6%減）となりました。また、伸銅品事業売却に伴う構造改革損失の計上等により、親会社株主に帰属する四半期純損失は3,389百万円（前年同期は2,356百万円の利益）となりました。

セグメント別の状況については、以下のとおりであります。

アルミ圧延品事業

アルミニウム圧延品業界については、板類の国内需要では、飲料缶は前年同期比微増となり堅調に推移いたしました。自動車関連向け需要は底堅く推移しました。一方で電気機械や精密機械関連、液晶・半導体製造装置等の需要は低調であり板類全体数量としては前年同期比で微減となりました。押出類に関しては、建材、乗用車は堅調でしたが、バストラック、自動車熱交、二輪の輸送向けが減少し押出類全体でも前年同期比で微減となりました。

当社グループの国内向売上数量は、前年同期比で板類は微減となりました。缶材や自動車材などは堅調でしたが、電気機械や精密機械関連、液晶・半導体製造装置用厚板で減少し、また押出類でも減少しました。

一方、海外向売上数量では、Tri-Arrows Aluminum Inc.の缶材・自動車パネル用アルミニウム素材等の増加やUACJ (Thailand) Co., Ltd.での缶材増加に支えられ、当社グループのアルミ圧延品総量では前年同期を上回りました。

このような販売状況のもと、販売数量は増加したものの、地金価格の下落等により、当第2四半期連結累計期間のアルミ圧延品事業の売上高は253,314百万円（前年同期比4.6%減）となりました。営業利益については、棚卸評価関係が悪化したこと等により、4,793百万円（同62.4%減）となりました。

伸銅品事業

当事業の主力製品である空調用銅管の主要用途である家庭用ルームエアコン及び業務用パッケージエアコンの国内出荷において、家庭用ルームエアコンは天候不順等の影響により出荷が減少したものの、業務用パッケージエアコンは、学校向け需要が堅調に推移したことにより前年同期を上回りました。銅地金価格については、前年同期と比べ当第2四半期連結累計期間は下落しました。

このような環境のもと、当第2四半期連結累計期間の伸銅品事業の売上高は22,914百万円（前年同期比4.4%減）となりました。営業利益は、棚卸評価関係の悪化等を主因として373百万円（同64.9%減）となりました。

加工品・関連事業

日本、及び米国の加工品事業での売上の落ち込みはあったものの、熱交材・電池材・空調関連品が堅調に推移したことが寄与し、当第2四半期連結累計期間の加工品・関連事業の売上高は97,175百万円（前年同期比0.1%増）となりました。一方、営業利益は比較的収益性の良い加工品事業の売上減が影響し、1,183百万円（同21.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

伸銅品事業の売却等により、当2四半期連結会計期間末の資産については755,622百万円（前連結会計年度末比6.4%減）、負債については558,310百万円（同7.1%減）となりました。

純資産については、配当金の支払い及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等により、197,312百万円（同4.3%減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

①売上高、営業利益及び経常利益

2019年8月1日に公表いたしました予想値から変更はありません。

②親会社株主に帰属する当期純利益

2019年9月30日公表の「構造改革の実行」(注)にありますように、当社は、構造改革に着手しておりますが、当該構造改革の実行による影響額につきましては、現在精査中です。

よって、親会社株主に帰属する当期純利益、1株当たり当期純利益につきましては、現時点ではその金額を合理的に見積もることは困難なため、引き続き未定とし、合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

(注)上記記載の構造改革では、稼ぐ力の向上、財務体質の改善、経営のスピードと質の向上を基本方針とし、環境変化に強い筋肉質な企業体質を確立してまいります。

詳細に関しては2019年9月30日公表の「構造改革の実行」をご覧ください。

③配当予想

上記に記載のとおり、親会社株主に帰属する当期純利益を未定としたことから、配当予想につきましても引き続き未定とさせていただきますが、今後上記の構造改革の実行による影響が判明次第、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,510	31,175
受取手形及び売掛金	145,217	113,086
商品及び製品	38,243	36,509
仕掛品	62,300	52,221
原材料及び貯蔵品	54,567	45,389
その他	21,528	21,778
貸倒引当金	△73	△69
流動資産合計	348,291	300,090
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	70,977	67,753
機械装置及び運搬具（純額）	117,002	113,187
土地	114,920	104,933
その他（純額）	59,829	77,070
有形固定資産合計	362,728	362,943
無形固定資産		
のれん	43,156	40,692
その他	12,835	11,608
無形固定資産合計	55,991	52,300
投資その他の資産		
投資有価証券	21,384	19,841
その他	18,902	20,522
貸倒引当金	△72	△73
投資その他の資産合計	40,214	40,290
固定資産合計	458,933	455,532
資産合計	807,224	755,622

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	122,535	100,809
短期借入金	61,601	60,754
コマーシャル・ペーパー	—	16,000
1年内返済予定の長期借入金	45,579	53,464
その他	43,555	40,350
流動負債合計	273,269	271,376
固定負債		
長期借入金	267,901	233,837
退職給付に係る負債	18,192	16,902
その他	41,658	36,194
固定負債合計	327,751	286,934
負債合計	601,020	558,310
純資産の部		
株主資本		
資本金	52,277	52,277
資本剰余金	80,318	80,318
利益剰余金	51,337	45,054
自己株式	△307	△311
株主資本合計	183,624	177,337
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,670	1,223
繰延ヘッジ損益	△1,203	△1,569
為替換算調整勘定	6,950	6,082
退職給付に係る調整累計額	△44	△41
その他の包括利益累計額合計	7,373	5,695
非支配株主持分	15,206	14,280
純資産合計	206,204	197,312
負債純資産合計	807,224	755,622

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	330,857	314,608
売上原価	290,423	282,501
売上総利益	40,434	32,108
販売費及び一般管理費	28,567	28,680
営業利益	11,867	3,428
営業外収益		
デリバティブ評価益	360	376
受取配当金	297	330
その他	977	751
営業外収益合計	1,634	1,457
営業外費用		
支払利息	3,214	3,531
持分法による投資損失	1,895	—
その他	821	948
営業外費用合計	5,930	4,479
経常利益	7,570	405
特別利益		
投資有価証券売却益	725	406
その他	36	12
特別利益合計	761	418
特別損失		
構造改革損失	—	897
固定資産除却損	403	428
その他	205	23
特別損失合計	609	1,348
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	7,723	△525
法人税等	5,064	2,574
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,659	△3,099
非支配株主に帰属する四半期純利益	303	290
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,356	△3,389

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,659	△3,099
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	598	△447
繰延ヘッジ損益	211	△618
為替換算調整勘定	890	△861
退職給付に係る調整額	△48	△144
持分法適用会社に対する持分相当額	△534	△143
その他の包括利益合計	1,117	△2,213
四半期包括利益	3,776	△5,312
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,583	△5,067
非支配株主に係る四半期包括利益	1,192	△245

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

① 連結の範囲の重要な変更

当第2四半期連結会計期間末において、株式会社UACJ銅管の株式を譲渡したことに伴い、同社及びその子会社である株式会社UACJ銅管販売、東洋フイツテング株式会社、UACJ Copper Tube (Malaysia) Sdn. Bhd. は、連結の範囲から除外しております。

② 持分法適用の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準(IFRS)を適用している在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間の期首からIFRS第16号「リース」を適用しております。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アルミ圧延品 事業	伸銅品事業	加工品・関連 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	234,809	16,643	79,406	330,857	—	330,857
セグメント間の内部売 上高又は振替高	30,738	7,331	17,660	55,728	△55,728	—
計	265,546	23,973	97,065	386,585	△55,728	330,857
セグメント利益	12,756	1,062	1,501	15,319	△3,452	11,867

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,452百万円には、たな卸資産の調整額△7百万円、セグメント間取引消去△177百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,268百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アルミ圧延品 事業	伸銅品事業	加工品・関連 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	219,315	15,597	79,697	314,608	—	314,608
セグメント間の内部売 上高又は振替高	33,999	7,317	17,478	58,794	△58,794	—
計	253,314	22,914	97,175	373,403	△58,794	314,608
セグメント利益	4,793	373	1,183	6,349	△2,921	3,428

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,921百万円には、たな卸資産の調整額98百万円、セグメント間取引消去△179百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,841百万円が含まれております。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、新たに設置した自動車部品事業本部を「加工品・関連事業」に区分したことに伴い、前連結会計年度まで全社費用として「調整額」に含まれていた自動車部品事業本部の費用を「加工品・関連事業」に含めております。なお、当該変更による影響は軽微であります。